

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
31242	青果部市場維持管理事業	産業経済部(農林水産担当)	市場管理課	シートA	2
31242	青果部市場施設整備事業	産業経済部(農林水産担当)	市場管理課	シートA	3
31242	青果部業務運営事業	産業経済部(農林水産担当)	市場管理課	シートA	4
31242	花き部市場維持管理事業	産業経済部(農林水産担当)	市場管理課	シートA	5
31242	花き部市場施設整備事業	産業経済部(農林水産担当)	市場管理課	シートA	6
31242	花き部業務運営事業	産業経済部(農林水産担当)	市場管理課	シートA	7
31242	松山市中央市場運営協議会負担金	産業経済部(農林水産担当)	市場管理課	シートA	8
31242	水産物部市場維持管理事業	産業経済部(農林水産担当)	市場管理課	シートA	9
31242	水産物部市場施設整備事業	産業経済部(農林水産担当)	市場管理課	シートA	10
31242	水産物部業務運営事業	産業経済部(農林水産担当)	市場管理課	シートA	11
31242	松山市水産市場運営協議会負担金	産業経済部(農林水産担当)	市場管理課	シートA	12

令和4年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		管理担当	連絡先	924-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	吉岡 信一	リダー名	主査	清川 由美子	担当者名	主幹	白方 眞一	主任	中井 新吾
令和3年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		管理担当	連絡先	924-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	乗松 洋一郎	リダー名	主査	清川 由美子	担当者名	主幹	土居 文夫	主任	中井 新吾

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	31242	青果部市場維持管理事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔 プログラム	個別プログラム	-	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						重点プロジェクト	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進						主な取り組み	-	
主な取り組み	流通機能の充実					市長公約		-	
取り組みの柱	公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点をもった市場運営に取り組みます。							-	
総合戦略		基本目標	-			取組み	-		
		政策	-						
		施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)			2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)			2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		卸売市場法、松山市中央卸売市場業務条例、松山市中央卸売市場業務条例施行規則							
事業の目的 (どのような状態にするか)	中央卸売市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、青果物の流通の円滑化を図る。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の青果物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和49年度に松山市中央卸売市場を開設した。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	【対 象】松山市中央卸売市場(青果部)及び関係者 【事業内容】中央卸売市場(青果部)の維持管理に必要な光熱水費の支払、保安警備、清掃業務、廃棄物処理、各施設・設備の保守点検管理業務等の委託を行う。								
受益者負担の状況	負担の有無		3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	49	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費	R3予算措置時期	当初		
				R2年度			R3年度		R4年度			
現計予算額 (A) (単位:千円)				184,549			177,301		182,204			
決算額 (B) (単位:千円)				158,596			158,031					
内訳 (単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0		0			
	県支出金			0			0		0			
	市債			0			0		0			
	その他			158,596			158,031		182,204			
	一般財源			0			0		0			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							委託料 光熱水費	85,748千円 63,182千円	委託料 光熱水費	98,720千円 72,666千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額 (単位:千円)		(A)-(B)		25,953			19,270					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	市場の維持管理 ・保安警備業務委託 ・一般廃棄物処理、産業廃棄物処理業務委託 ・各施設・設備・機械保守点検管理業務委託 ・市場施設の使用指定及び許可業務									
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			概ね予定どおり実施できた。			
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		市場施設等の維持管理を適正に行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できたため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	人件費や単価等の上昇により、委託料の増加傾向が続いている。				環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		委託業務の仕様の見直し等により経費縮減を図る。			
R4年度の目標	青果物の流通拠点として、卸売機能が十分に発揮できるよう、市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施する。				R4年度の主な取組み内容(予定含む)		市場施設・設備等の維持管理 ・保安警備業務委託 ・廃棄物処理関係業務委託 ・市場施設・設備等の保守点検管理業務委託 ・市場施設の使用指定や許可 など			

令和4年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名	管理担当	連絡先	924-2311	
	部等長名	高木 伸治	課等長名	吉岡 信一	リダー名	主査	清川 由美子	担当者名	主幹 白方 眞一 主任 中井 新吾
令和3年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名	管理担当	連絡先	924-2311	
	部等長名	高木 伸治	課等長名	乗松 洋一郎	リダー名	主査	清川 由美子	担当者名	主幹 土居 文夫 主任 中井 新吾

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	31242	青果部市場施設整備事業			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔 プログラム	個別プログラム	-	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する					重点プロジェクト	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進					主な取り組み	-	
主な取り組み	流通機能の充実				市長公約	-		
取り組みの柱	公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点をもった市場運営に取り組みます。					-		
総合戦略		基本目標	-			取組み	-	
		政策	-					
		施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)			2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		卸売市場法、松山市中央卸売市場業務条例、松山市中央卸売市場業務条例施行規則						
事業の目的 (どのような状態にするか)	中央卸売市場の施設・設備等の整備を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、青果物の流通の円滑化を図る。							
背景 (どのような経緯で開始したか)	昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の青果物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和49年度に松山市中央卸売市場を開設した。							
対象・事業内容 (誰に対して、何をするのか)	【対 象】松山市中央卸売市場(青果部)及び関係者 【事業内容】開設者として、円滑な市場業務が行えるよう、施設や設備の改修等を実施。 ・中央卸売市場(青果部)の設備・設備等の現状把握、設計業務、工事等の実施。 ・突発的な故障等に対する宮繕工事等の実施。 ・委託業者、工事業者等への委託料、工事請負費の支出。							
受益者負担の状況	負担の有無		3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	昭和	49	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費	R3予算措置時期	当初	
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				204,730		83,160		45,957			
決算額(B)(単位:千円)				116,794		68,321					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			60,000		0		6,000			
	その他			32,521		68,321		39,957			
	一般財源			24,273		0		0			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費 68,294千円 原材料費 27千円		工事請負費 39,900千円 委託料 6,000千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						予算額のうち35,200千円は前年度繰越分 決算額のうち21,130千円は前年度繰越分 流用による減あり					
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		87,936		14,839					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・中央市場電力量計取替工事 等										
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		概ね予定どおり実施できた。					
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		市場施設・設備について適正な整備等を行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できたため。						
事業の公共性	必要性		2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性		2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	施設や設備等の老朽化により、工事費用が増加している。今後、将来的な施設や設備の整備にかかる検討が必要。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			・施設の予防保全対策を積極的に実施する。 ・市場の将来を見据えて、市場施設の計画的な維持管理方法等を検討する。			
R4年度の目標	卸売機能が十分に発揮できるよう、市場施設・設備等の適正な維持管理を行う。				R4年度の 主な取組み内容 (予定含む)			・青果棟南側駐車場舗装補修工事 ・中央市場バナナ加工所改修工事設計委託 等			

令和4年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名	業務担当	連絡先	924-2311	
	部等長名	高木 伸治	課等長名	吉岡 信一	リーダー名	副主幹	金子 知典	担当者名	主任 山岡 泰洋 主任 菊原 勇作
令和3年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名	業務担当	連絡先	924-2311	
	部等長名	高木 伸治	課等長名	乗松 洋一郎	リーダー名	主幹	大原 文博	担当者名	主査 部谷 信行 主任 澤井 宏和

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	31242	青果部業務運営事業			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔 プログラム	個別プログラム	-		
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する					重点プロジェクト	-		
施策	事業所立地と雇用創出の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	流通機能の充実				市長公約	-			
取り組みの柱	公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点をもった市場運営に取り組みます。					-			
総合戦略		基本目標	-			取組み	-		
		政策	-						
		施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)			2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等		卸売市場法、松山市中央卸売市場業務条例、松山市中央卸売市場業務条例施行規則							
事業の目的 (どのような状態にするか)	中央卸売市場の市場取引を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、青果物の流通の円滑化を図る。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の青果物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和49年度に松山市中央卸売市場を開設した。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をするのか)	【対 象】松山市中央卸売市場(青果部)及び関係者 【事業内容】関係法令に基づき、適正かつ円滑な卸売業務を実施する。 ・関係例規の整備 ・市場関係者の業務の許可、指導・監督 ・売買取引の監督等 ・残留農薬検査の実施及びHP等での結果公表								
受益者負担の状況	負担の有無		3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和	49	～	令和	5	終期の種別			2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費	R3予算措置時期	当初	
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				5,572		3,141		3,179			
決算額(B)(単位:千円)				3,924		1,548					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			3,924		1,548		3,179			
	一般財源			0		0		0			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算、R4→予算						手数料 858千円 報償費 322千円	報償費 994千円 手数料 884千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		1,648		1,593					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・市場取引の適正実施 ・場内業者の経営状況等の把握、経営指導 ・関係例規の整備 ・残留農薬検査の実施									
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点、悪かった点など		条例改正後のルールのもとで、混乱なく安定した取引を行うことができた。				
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		市場取引の適正化を図り、円滑な流通や安定供給を行うことができたため。					
事業の公共性	必要性		2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性		2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	・関係法令等改正後のルールに基づく卸売業務の適正かつ円滑な実施。 ・青果物の需要の拡大等 ・市場取引の安定化を含めた、今後の市場の運営方法等を検討していく必要がある。				環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組み改善策		・関係法令等改正後のルールに基づく持続的な市場運営を行う。 ・場内業者の経営状況等の把握及び経営指導を行う。 ・市場取引の安定化を含めた今後の運営方法等を検討する。			
R4年度の目標	場内業者の経営状況等の把握、経営指導を行うとともに、市場取引の監督により、市場流通の円滑な実施を図る。				R4年度の主な取組み内容 (予定含む)		・市場取引の適正実施 ・場内業者の経営状況等の把握、経営指導 (公認会計士による経営分析の実施)			

令和4年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		管理担当	連絡先	924-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	吉岡 信一	リダー名	主査	清川 由美子	担当者名	主幹	白方 眞一	主任	中井 新吾
令和3年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		管理担当	連絡先	924-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	乗松 洋一郎	リダー名	主査	清川 由美子	担当者名	主幹	土居 文夫	主任	中井 新吾

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	31242	花き部市場維持管理事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔 プログラム	個別プログラム	-	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						重点プロジェクト	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進						主な取り組み	-	
主な取り組み	流通機能の充実					市長公約		-	
取り組みの柱	公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点をもった市場運営に取り組みます。							-	
総合戦略		基本目標	-				取組み	-	
		政策	-						
		施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)			2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)			2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		卸売市場法、松山市公設花き地方卸売市場業務条例、松山市公設花き地方卸売市場業務条例施行規則							
事業の目的 (どのような状態にするか)	公設花き地方卸売市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、花きの流通の円滑化を図る。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の花き流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年に松山市中央卸売市場花き部を開設した。平成22年4月、松山市公設花き地方卸売市場に転換した。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をするのか)	【対 象】松山市公設花き地方卸売市場及び関係者 【事業内容】松山市公設花き地方卸売市場の維持管理に必要な光熱水費の支払、保安警備、清掃業務、各施設・設備の保守点検管理業務等の委託を行う。								
受益者負担の状況	負担の有無		3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	56	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費	R3予算措置時期	当初			
				R2年度			R3年度			R4年度			
現計予算額 (A) (単位:千円)				16,915			16,320			16,816			
決算額 (B) (単位:千円)				15,039			14,810						
内訳 (単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0			0			
	県支出金			0			0			0			
	市債			0			0			0			
	その他			5,965			8,194			8,633			
	一般財源			9,074			6,616			8,183			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							委託料 8,558千円 光熱水費 5,898千円	委託料 9,756千円 光熱水費 6,534千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等													
予算執行残額 (単位:千円)		(A)-(B)		1,876			1,510						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	市場の維持管理 ・保安警備業務委託 ・各施設・設備・機械保守点検管理業務委託 ・市場施設の使用指定及び許可業務							
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		概ね予定どおり実施できた。		
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		市場施設等の維持管理を適正に行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できたため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	人件費や単価等の上昇により、委託料の増加傾向が続いている。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		委託業務の仕様の見直し等により経費縮減を図る。	
R4年度の目標	花きの流通拠点として、卸売機能が十分に発揮できるよう、市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施する。				R4年度の主な取組み内容 (予定含む)		市場施設・設備等の維持管理 ・保安警備業務委託 ・市場施設・設備等の保守点検管理業務委託 ・市場施設の使用指定や許可 など	

令和4年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名	管理担当	連絡先	924-2311	
	部等長名	高木 伸治	課等長名	吉岡 信一	リダー名	主査	清川 由美子	担当者名	主幹 白方 真一 主任 中井 新吾
令和3年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名	管理担当	連絡先	924-2311	
	部等長名	高木 伸治	課等長名	乗松 洋一郎	リダー名	主査	清川 由美子	担当者名	主幹 土居 文夫 主任 中井 新吾

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	31242	花き部市場施設整備事業			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔 プログラム	個別プログラム	-	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する					重点プロジェクト	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進					主な取り組み	-	
主な取り組み	流通機能の充実				市長公約	-		
取り組みの柱	公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点をもった市場運営に取り組みます。					-		
総合戦略		基本目標	-			取組み	-	
		政策	-					
		施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等		卸売市場法、松山市公設花き地方卸売市場業務条例、松山市公設花き地方卸売市場業務条例施行規則						
事業の目的 (どのような状態にするか)	公設花き地方卸売市場の施設・設備等の整備を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、花きの流通の円滑化を図る。							
背景 (どのような経緯で開始したか)	昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の花き流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年に松山市中央卸売市場花き部を開設した。平成22年4月、松山市公設花き地方卸売市場に転換した。							
対象・事業内容 (誰に対して、何をするのか)	【対 象】松山市公設花き地方卸売市場及び関係者 【事業内容】開設者として、円滑な市場業務が行えるよう、施設や設備の改修等を実施。 ・中央市場(花き部)の設備・設備等の現状把握、設計業務、工事等の実施。 ・突発的な故障等に対する宮繕工事等の実施。 ・委託業者、工事業者等への委託料、工事請負費の支出。							
受益者負担の状況	負担の有無		3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	昭和	56	～	令和	5	終期の種別		2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費	R3予算措置時期	当初			
				R2年度		R3年度		R4年度					
現計予算額 (A) (単位:千円)				6,580		3,000		3,000					
決算額 (B) (単位:千円)				6,235		3,655							
内訳 (単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0					
	県支出金			0		0		0					
	市債			0		0		0					
	その他			5,154		3,655		3,000					
	一般財源			1,081		0		0					
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費 3,655千円		工事請負費 3,000千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり							
予算執行残額 (単位:千円)		(A)-(B)		345		-655							

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・非常灯取替工事 ・その他営繕工事 等										
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		概ね予定どおり実施できた。					
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		市場施設・設備について適正な整備等を行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できたため。						
事業の公共性	必要性		2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性		2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	施設や設備等の老朽化により、工事費用が増加している。今後、将来的な施設や設備の整備にかかる検討が必要。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			・施設の予防保全対策を積極的に実施する。 ・市場の将来を見据えて、市場施設の計画的な維持管理方法等を検討する。			
R4年度の目標	卸売機能が十分に発揮できるよう、市場施設・設備等の適正な維持管理を行う。				R4年度の 主な取組み内容 (予定含む)			花き施設・設備の営繕工事等			

令和4年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		業務担当	連絡先	924-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	吉岡 信一	リダ-名	副主幹	金子 知典	担当者名	主任	澤井 宏和	主任	関谷 宏一
令和3年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		業務担当	連絡先	924-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	乗松 洋一郎	リダ-名	主幹	大原 文博	担当者名	主査	部谷 信行	主任	澤井 宏和

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	31242	花き部業務運営事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔 プログラム	個別プログラム	-	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						重点プロジェクト	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進						主な取り組み	-	
主な取り組み	流通機能の充実					市長公約	-		
取り組みの柱	公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点をもった市場運営に取り組みます。						-		
総合戦略		基本目標	-				取組み	-	
		政策	-						
		施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)			2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)			2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		卸売市場法、松山市公設花き地方卸売市場業務条例、松山市公設花き地方卸売市場業務条例施行規則							
事業の目的 (どのような状態にするか)	公設花き地方卸売市場の市場取引を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、花きの流通の円滑化を図る。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の花き流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年に松山市中央卸売市場花き部を開設した。平成22年4月、松山市公設花き地方卸売市場に転換した。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をするのか)	【対 象】松山市公設花き地方卸売市場及び関係者 【事業内容】関係法令に基づき、卸売業務の適正で円滑な実施を図る。 ・関係例規の整備 ・市場関係者の業の許可、指導・監督 ・売買取引の監督等 ・花き需要の拡大を図るため、フラワーデザインコンテスト「坊ちゃんカップ」を補助								
受益者負担の状況	負担の有無		3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	56	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費	R3予算措置時期	当初		
				R2年度			R3年度		R4年度			
現計予算額 (A) (単位:千円)				512			421		421			
決算額 (B) (単位:千円)				192			88					
内訳 (単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0		0			
	県支出金			0			0		0			
	市債			0			0		0			
	その他			192			88		421			
	一般財源			0			0		0			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							報償費 88千円		報償費 88千円 補助金 250千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額 (単位:千円)		(A)-(B)		320			333					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・市場取引の適正実施 ・場内業者の経営状況等の把握、経営指導 ・関係例規の整備									
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			条例改正後のルールのもとで、混乱なく安定した取引をすることができた。			
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		市場取引の適正化を図り、円滑な流通や安定供給を行うことができたため。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	・関係法令等改正後のルールに基づく卸売業務の適正かつ円滑な実施。 ・場内業者の経営改善。 ・市場取引の安定化を含めた、今後の市場の運営方法等を検討していく必要がある。				環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		・関係法令等改正後のルールに基づく持続的な市場運営を行う。 ・場内業者の経営状況等の把握及び経営指導を行う。 ・市場取引の安定化を含めた今後の運営方法等を検討する。			
R4年度の目標	場内業者の経営状況等の把握、経営指導を行うとともに、市場取引の監督により、市場流通の円滑な実施を図る。				R4年度の主な取組み内容(予定含む)		・市場取引の適正実施 ・場内業者の経営状況等の把握、経営指導(公認会計士による経営分析の実施) ・フラワーデザインコンテストの補助			

令和4年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		業務担当	連絡先	924-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	吉岡 信一	リダ-名	副主幹	金子 知典	担当者名	主任	澤井 宏和	主任	関谷 宏一
令和3年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		業務担当	連絡先	924-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	乗松 洋一郎	リダ-名	主幹	大原 文博	担当者名	主査	部谷 信行	主任	澤井 宏和

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)		31242	松山市中央市場運営協議会負担金		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標		地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			笑顔 プログラム	個別プログラム	-		
政策		暮らしを支える地域経済を活性化する				重点プロジェクト	-		
施策		事業所立地と雇用創出の推進				主な取り組み	-		
主な取り組み		流通機能の充実			市長公約	-			
取り組みの柱		公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点をもった市場運営に取り組みます。				-			
総合戦略			基本目標	-					
			政策	-					
			施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)			2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等		松山市中央市場運営協議会規約							
事業の目的 (どのような状態にするか)		市場関係者と開設者が連携し、中央市場の取引の適正化と流通の円滑化を図る。							
背景 (どのような経緯で開始したか)		昭和49年の中央市場の開設に伴い、場内関係者が連携して市場運営の円滑化を図るため、市場取引、施設設備の取扱い、環境整備等を協議するとともに、市場活性化を図ることを目的に設置した。							
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)		【対 象】松山市中央市場運営協議会 【事業内容】市場活性化、青果部執行、花き売買取引の3委員会や代表者会、理事会を設置し、市場取引の適正化、環境整備、市場の活性化等について協議し、市場流通の円滑化と安定供給を図る各種取組みを実施できるよう、中央市場運営協議会に負担金を支出する。							
受益者負担の状況		負担の有無		3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)		昭和	49	～	令和	5	終期の種別		2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費	R3予算措置時期	当初			
				R2年度		R3年度		R4年度					
現計予算額 (A) (単位:千円)				1,200		1,200		1,200					
決算額 (B) (単位:千円)				840		720							
内訳 (単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0					
	県支出金			0		0		0					
	市債			0		0		0					
	その他			0		0		0					
	一般財源			840		720		1,200					
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金 720千円		負担金 1,200千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等													
予算執行残額 (単位:千円)		(A)-(B)		360		480							

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・市場活性化委員会、青果部執行委員会、花き部売買取引委員会等の開催 ・市場活性化に向けた取組(大感謝キャンペーン)の実施 ・場内環境整備 ・新型コロナウイルス感染症対策										
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		概ね予定どおり実施できたため。					
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		青果部・花き部の市場取引の適正な実施により、青果物及び花きの円滑な流通が図られたため。						
事業の公共性	必要性		2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性		2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	青果物及び花きの取扱量が減少傾向にあることから、需要拡大策が必要。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		開設者と市場関係者が連携し、市場活性化策や新型コロナウイルス対策などに取り組む。				
R4年度の目標	・市場関係者と開設者が連携し、市場取引の適正化や市場活性化策等に取り組む。 ・引き続き、新型コロナウイルス対策に取り組む。				R4年度の主な取組み内容 (予定含む)		・市場活性化事業の実施。 ・新型コロナウイルス対策の実施。				

令和4年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		水産物部担当	連絡先	951-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	池田 浩樹	リーダー名	主幹	大原 文博	担当者名	副主幹	大澤 靖広	副主幹	河野 克哉
令和3年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		水産物部担当	連絡先	951-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	吉岡 信一	リーダー名	主幹	大野 薫	担当者名	副主幹	大澤 靖広	主査	河野 克哉

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	31242	水産物部市場維持管理事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔 プログラム	個別プログラム	-	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						重点プロジェクト	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進						主な取り組み	-	
主な取り組み	流通機能の充実					市長公約	-		
取り組みの柱	公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点をもった市場運営に取り組みます。						-		
総合戦略		基本目標	-				取組み	-	
		政策	-						
		施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等		卸売市場法、松山市公設水産物卸売市場業務条例、松山市公設水産物卸売市場業務条例施行規則							
事業の目的 (どのような状態にするか)	公設水産物卸売市場の維持管理に必要な各種業務を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、水産物の流通の円滑化を図る。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の水産物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年に松山市中央卸売市場水産物部を三津ふ頭に開設した。平成23年3月、松山市公設水産物卸売市場に転換した。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	【対 象】 松山市公設水産物卸売市場及び関係者 【事業内容】 松山市公設水産物卸売市場の維持管理に必要な光熱水費の支払、保安警備、清掃業務、廃棄物処理、各施設・設備の保守点検管理業務等の委託を行う。								
受益者負担の状況	負担の有無		3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	56	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	水産市場管理費	R3予算措置時期	当初		
				R2年度			R3年度		R4年度			
現計予算額 (A) (単位:千円)				130,391			123,739		130,039			
決算額 (B) (単位:千円)				113,926			114,014					
内訳 (単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0		0			
	県支出金			0			0		0			
	市債			0			0		0			
	その他			74,555			52,868		57,950			
	一般財源			39,371			61,146		72,089			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							光熱水費 54,477千円 委託料 52,931千円		光熱水費 61,150千円 委託料 61,121千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							流用による減あり					
予算執行残額 (単位:千円)		(A)-(B)		16,465			9,725					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	市場の維持管理 ・保安警備業務委託 ・一般廃棄物処理、産業廃棄物処理業務委託 ・各施設・設備・機械保守点検管理業務委託 ・市場施設の使用指定及び許可業務							
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		概ね予定どおり実施できた。		
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		市場施設等の維持管理を適正に行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できたため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	人件費や単価等の上昇により、委託料の増加傾向が続いている。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		委託業務の仕様の見直し等により経費縮減を図る。	
R4年度の目標	水産物の流通拠点として、卸売機能が十分に発揮できるよう、市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施する。				R4年度の 主な取組み内容 (予定含む)		市場施設・設備等の維持管理 ・保安警備業務委託 ・廃棄物処理関係業務委託 ・市場施設・設備等の保守点検管理業務委託 ・市場施設の使用指定や許可 など	

令和4年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名	水産物部担当	連絡先	951-2311	
	部等長名	高木 伸治	課等長名	池田 浩樹	リーダー名	主幹	大原 文博	担当者名	副主幹 大澤 靖広 主任 高木 雄二
令和3年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名	水産物部担当	連絡先	951-2311	
	部等長名	高木 伸治	課等長名	吉岡 信一	リーダー名	主幹	大野 薫	担当者名	副主幹 大澤 靖広 主任 高木 雄二

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	31242	水産物部市場施設整備事業			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔 プログラム	個別プログラム	-		
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する					重点プロジェクト	-		
施策	事業所立地と雇用創出の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	流通機能の充実				市長公約	-			
取り組みの柱	公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点をもった市場運営に取り組みます。					-			
総合戦略		基本目標	-			取組み	-		
		政策	-						
		施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		卸売市場法、松山市公設水産地方卸売市場業務条例、松山市公設水産地方卸売市場業務条例施行規則							
事業の目的 (どのような状態にするか)	公設水産地方卸売市場の施設・設備等の整備を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、水産物の流通の円滑化を図る。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の水産物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年に松山市中央卸売市場水産物部を三津ふ頭に開設した。平成23年3月、松山市公設水産地方卸売市場に転換した。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	【対 象】松山市公設水産地方卸売市場及び関係者 【事業内容】開設者として、円滑な市場業務が行えるよう、施設や設備の改修等を実施。 ・水産市場の設備・設備等の現状把握、設計業務、工事等の実施。 ・突発的な故障等に対する宮繕工事等の実施。 ・委託業者、工事業者等への委託料、工事請負費の支出。								
受益者負担の状況	負担の有無		3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	56	～	令和	5	終期の種別		2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	水産市場管理費	R3予算措置時期	当初		
				R2年度		R3年度		R4年度				
現計予算額 (A) (単位:千円)				112,350		196,057		134,359				
決算額 (B) (単位:千円)				60,501		154,989						
内訳 (単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		0		
	県支出金			0		0		0		0		
	市債			22,000		102,400		73,300				
	その他			38,501		52,574		60,959				
	一般財源			0		15		100				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費 154,662千円 原材料費 327千円		工事請負費 133,702千円 原材料費 333千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						予算額のうち51,000千円は前年度繰越分 決算額のうち36,278千円は前年度繰越分 流用による減あり						
予算執行残額 (単位:千円)		(A)-(B)		51,849		41,068						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・冷蔵庫棟冷凍機器更新工事(1・2号室) ・水産市場外荷揚場改修工事 ・水産市場重量シャッター取替工事 ・水産市場倉庫棟東側舗装補修工事 等										
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		概ね予定どおり実施できた。					
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		市場施設・設備について適正な整備等を行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できたため。						
事業の公共性	必要性		2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性		2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	施設や設備等の老朽化により、工事費用が増加している。今後、将来的な施設や設備の整備にかかる検討が必要。				環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策			・施設の予防保全対策を積極的に実施する。 ・市場の将来を見据えて、市場施設の計画的な維持管理方法等を検討する。			
R4年度の目標	卸売機能が十分に発揮できるよう、市場施設・設備等の適正な維持管理を行う。				R4年度の主な取組み内容(予定含む)			・冷蔵庫棟冷凍機器更新工事(3・4号室) ・舗装補修工事 ・海水再利用スクリーン架台取替工事 ・関連店舗棟屋上防水工事 等			

令和4年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		水産物部担当	連絡先	951-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	池田 浩樹	リーダー名	主幹	大原 文博	担当者名	副主幹	河野 克哉	主任	富永 篤則
令和3年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		水産物部担当	連絡先	951-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	吉岡 信一	リーダー名	主幹	大野 薫	担当者名	主査	河野 克哉	主事	吉野 正和

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	31242	水産物部業務運営事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔 プログラム	個別プログラム	-	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						重点プロジェクト	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進						主な取り組み	-	
主な取り組み	流通機能の充実					市長公約	-		
取り組みの柱	公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点をもった市場運営に取り組みます。						-		
総合戦略		基本目標	-				取組み	-	
		政策	-						
		施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)			2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)			2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		卸売市場法、松山市公設水産地方卸売市場業務条例、松山市公設水産地方卸売市場業務条例施行規則							
事業の目的 (どのような状態にするか)	公設水産地方卸売市場の市場取引を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、水産物の流通の円滑化を図る。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の水産物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年に松山市中央卸売市場水産物部を三津ふ頭に開設した。平成23年3月、松山市公設水産地方卸売市場に転換した。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をするのか)	【対 象】松山市公設水産地方卸売市場及び関係者 【事業内容】関係法令に基づき、卸売業務の適正で円滑な実施を図る。 ・関係例規の整備 ・市場関係者の業の許可、指導・監督 ・売買取引の監督等 ・混入化学物質検査の実施及びHP等での結果公表								
受益者負担の状況	負担の有無		3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	56	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	水産市場管理費	R3予算措置時期	当初	
				R2年度		R3年度			R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				56,932		55,761			55,864		
決算額(B)(単位:千円)				56,279		57,935					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0			0		
	県支出金			0		0			0		
	市債			0		0			0		
	その他			25,377		34,782			22,298		
	一般財源			30,902		23,153			33,566		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						補助金 52,000千円 委託料 3,668千円			補助金 52,000千円 手数料 1,967千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり					
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		653		-2,174					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・市場取引の適正実施 ・場内業者の経営状況等の把握、経営指導 ・関係例規の整備 ・混入化学物質等委託検査										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		条例改正後のルールのもとで、混乱なく安定した取引を行うことができた。					
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		市場取引の適正化を図り、円滑な流通や安定供給を行うことができたため。						
事業の公共性	必要性		2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性		2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	・関係法令等改正後のルールに基づく卸売業務の適正かつ円滑な実施。 ・水産物の需要の拡大と業者の経営改善。 ・市場取引の安定化を含めた、今後の市場の運営方法等を検討していく必要がある。				環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組み改善策		・関係法令等改正後のルールに基づく持続的な市場運営を行う。 ・場内業者の経営状況等の把握及び経営指導を行う。 ・市場取引の安定化を含めた今後の運営方法等を検討する。				
R4年度の目標	場内業者の経営状況等の把握、経営指導を行うとともに、市場取引の監督により、市場流通の円滑な実施を図る。				R4年度の主な取り組み内容 (予定含む)		・市場取引の適正実施 ・場内業者の経営状況等の把握、経営指導 (公認会計士による経営分析の実施)				

令和4年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		水産物部担当	連絡先	951-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	池田 浩樹	リーダー名	主幹	大原 文博	担当者名	副主幹	河野 克哉	主任	富永 篤則
令和3年度	部局等名	産業経済部(農林水産担当)	課等名	市場管理課	担当グループ名		水産物部担当	連絡先	951-2311			
	部等長名	高木 伸治	課等長名	吉岡 信一	リーダー名	主幹	大野 薫	担当者名	主査	河野 克哉	主事	吉野 正和

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	31242	松山市水産市場運営協議会負担金				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔 プログラム	個別プログラム	-	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						重点プロジェクト	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進						主な取り組み	-	
主な取り組み	流通機能の充実					市長公約	-		
取り組みの柱	公設卸売市場の施設や設備を計画的に更新するとともに、生鮮食料品などの安定供給や安全・安心の確保など、経営戦略的な視点をもった市場運営に取り組みます。						-		
総合戦略		基本目標	-				取組み	-	
		政策	-						
		施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)			2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)			2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		松山市水産市場運営協議会規約							
事業の目的 (どのような状態にするか)	市場関係者と開設者が連携し、水産市場の取引の適正化と流通の円滑化を図る。 魚離れに歯止めをかけるよう、市場関係者と開設者が連携しながら魚食普及に取り組む。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	昭和56年の開場以降、場内関係者が連携して市場運営の円滑化を図るため、市場取引、施設設備の取扱い、環境整備等を協議するとともに、市場活性化を図ることを目的に設置した。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をするのか)	【対 象】松山市水産市場運営協議会 【事業内容】三津の朝市「旬・鮮・味まつり」を開催する等、魚食普及に取り組むことで、市場活性化を図り、健全な市場運営を実現する。また、市場活性化、売買環境の2委員会を設置し、市場取引の適正化、環境整備、市場の活性化について協議し、市場の正常化及び流通の円滑化と安定供給を図る各種取り組みを実施できるよう、松山市水産市場運営協議会に負担金を支出する。								
受益者負担の状況	負担の有無		3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	56	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	水産市場管理費	R3予算措置時期	当初			
				R2年度		R3年度		R4年度					
現計予算額 (A) (単位:千円)				8,900		8,900		8,900					
決算額 (B) (単位:千円)				749		1,121							
内訳 (単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0					
	県支出金			0		0		0					
	市債			0		0		0					
	その他			0		0		0					
	一般財源			749		1,121		8,900					
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						負担金 1,121千円		負担金 8,900千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等													
予算執行残額 (単位:千円)		(A)-(B)		8,151		7,779							

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・市場活性化委員会、売買環境委員会、新型コロナウイルス感染症対策部会等の開催 ・美味しいお魚得とくキャンペーンの実施 ・魚のさばき方教室(1回) ・一嘗三嘆 学生との連携事業 等										
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		新型コロナウイルス感染症の影響により、旬・鮮・味まつりなどのイベントは開催できなかったが、新型コロナウイルス対策部会を設置し、開設者である市と市場関係者が連携し、感染防止対策を徹底することができた。					
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		新型コロナウイルス感染症対策部会を設置し、開設者である市と市場関係者が連携することで、感染防止対策を徹底し、市場機能及び水産物の流通を維持できた。また、旬・鮮・味まつりなどのイベントは開催できなかったが、開催できた魚のさばき方教室では一定数の参加があるなど、コロナ禍を踏まえたイベント開催で、魚食普及に取り組むことができたため。						
事業の公共性	必要性		2		1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	2		1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	取扱量が減少傾向にあることから、需要拡大策が必要。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		開設者と市場関係者が連携し、市場活性化策や新型コロナウイルス対策などに取り組む。			
R4年度の目標	・市場関係者と開設者が連携し、市場取引の適正化や市場活性化策等に取り組む。 ・引き続き、新型コロナウイルス対策に取り組む。					R4年度の主な取組み内容(予定含む)		・市場活性化事業の実施。 ・新型コロナウイルス対策の実施。			